

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成20年8月7日(2008.8.7)

【公表番号】特表2004-511002(P2004-511002A)

【公表日】平成16年4月8日(2004.4.8)

【年通号数】公開・登録公報2004-014

【出願番号】特願2002-518491(P2002-518491)

【国際特許分類】

G 0 9 F	9/00	(2006.01)
B 3 2 B	7/02	(2006.01)
B 3 2 B	7/12	(2006.01)
C 0 9 D	5/00	(2006.01)
C 0 9 D	5/16	(2006.01)
C 0 9 D	5/24	(2006.01)
C 0 9 D	171/00	(2006.01)
C 0 9 J	7/02	(2006.01)
C 0 9 J	201/00	(2006.01)
C 0 9 K	3/00	(2006.01)
G 0 2 F	1/1335	(2006.01)

【F I】

G 0 9 F	9/00	3 0 2
B 3 2 B	7/02	1 0 3
B 3 2 B	7/12	
C 0 9 D	5/00	Z
C 0 9 D	5/16	
C 0 9 D	5/24	
C 0 9 D	171/00	
C 0 9 J	7/02	Z
C 0 9 J	201/00	
C 0 9 K	3/00	1 1 2 D
G 0 2 F	1/1335	

【手続補正書】

【提出日】平成20年6月9日(2008.6.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

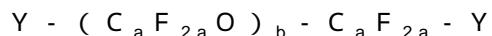
【特許請求の範囲】

【請求項1】情報表示面を有する表示装置のための情報表示装置プロテクタであつて、前記情報表示装置プロテクタが実質的に透明な可撓性シートのスタックを含み、前記シートが接着剤層を一方面に有するとともに結合剤マトリックスに分散した無機酸化物粒子と低表面エネルギー弗素化化合物とを含むハードコート層を他方面に有し、前記シートが前記情報表示面に合うように前記スタックが切断されている情報表示装置プロテクタ。

【請求項2】前記ハードコートは、結合剤マトリックスに分散したコロイド無機酸化物粒子を含む請求項1に記載の情報表示装置プロテクタ。

【請求項3】前記結合剤は導電性ポリマーを含む請求項1に記載の情報表示装置プロテクタ。

【請求項 4】 前記弗素化化合物は、式



(式中、各Yはランダムに分配された-C_aF_{2a}O-反復単位の鎖に結合された重合性基を含み、各aは独立して1~7であり、bは前記反復単位の数であって、パーフルオロポリエーテルが約500~約20,000の数平均分子量を有するように1~300の値を有する。)

を有するパーフルオロポリエーテルから誘導される請求項1に記載の情報表示装置プロテクタ。

【請求項 5】 パーソナルディジタルアシスタント、携帯電話、タッチ感応スクリーン、腕時計、カーナビゲーションシステム、GPS、測深機、計算機、電子ブック、CDプレーヤー、DVDプレーヤー、投影テレビスクリーン、コンピュータモニター、ノートブックコンピュータ表示装置またはインストルメントゲージを含む情報表示装置であって、請求項1に記載の情報表示装置プロテクタのスタックを接着させている情報表示装置。

【請求項 6】 情報表示面を有する電子機器のための情報表示装置プロテクタを製造する方法であって、

a) ラジカル重合性結合剤マトリックスに分散した無機酸化物粒子と低表面エネルギー弗素化化合物とを含む硬化性ハードコート層を実質的に透明で概ね平らな基板の一方に被着させる工程と、

b) 前記ハードコート層を硬化させる工程と、

c) 接着剤層を前記基板の他方面に被着させる工程と、

d) 前記被覆された基板をシートのスタックに形成する工程と、

e) 前記シートが前記情報表示面に合うように前記スタックを二次加工する工程とを含む方法。